

逐條土地收用法資料

(一四)

高 坂 孝 三

第三十五條 收用審査會ハ内務大臣ノ監督ニ屬シ左ニ掲ケ

タル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スモノトス

一 收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域

二 損失ノ補償

三 收用ノ時期又ハ使用ノ時期、期間

起業者ノ申請カ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ違反スルトキハ收用審査會ハ却下ノ裁決ヲ爲スヘシ

一、收用審査會ノ裁決事項

(内務明治三十四年五月一日土甲第二號)
各地方長官宛土木局長通牒)

(要旨) 收用審査會ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域、損

失ノ補償及收用ノ時期又ハ使用ノ時期期間ノ三事項中假令當事者間ニ何等係争ノ點ナキ事項アリトスルモ必ス右三事項ヲ定メテ裁決ヲ爲スヘキモノトス

(原文) 土地收用法第三十五條ノ規定ニ依レハ收用審査會ハ收用又ハ使用スヘキ土地ノ區域、損失ノ補償及收用ノ時期又ハ使用ノ時期期間ノ三事項ヲ定メテ裁決ヲ爲スヘキモノニ有之從テ同事項中假令當事者間ニ何等係争ノ點ナキ事項有之候トモ必ス右三事項ヲ定メテ裁決ヲ爲スヘキハ勿論ニシテ萬一其一ヲ脱漏スルトキハ明カニ同條ノ法文ニ違反スルモノト相成候條收用審査會ノ裁決ニハ同事項中ノ脱漏無之様御注意相成度此段依命及通牒候也

二、事業認定ト收用審査會ノ權限

(一) (行裁大正五年第一六三號)
同七年七月三十一日宣告

(要旨) 土地收用ニ關スル事業カ公共ノ利益ト爲ルヘキモノナルヤ否ヤハ收用審査會ノ審理裁決スヘキ事項ニ非ス

(判決理由) 土地收用ニ關スル事業カ公共ノ利益ト爲ルヘキモノナルヤ否ヤハ土地收用法第十二條ニ依リ内閣ニ於テ認定スヘキ事項ニシテ收用審査會ノ審理裁決スヘキ事項ニ非ス而モ本件事業カ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業トシテ内閣ノ認定ヲ受ケタルモノナルコト當事者間争ナキ所ナルヲ以テ此ノ點ニ付收用審査會カ裁決ニ於テ審査スヘキ限ニ在ラスト説示シタルハ法第四十四條ニ反スルモノニ非ス

註、前出第十二條資料 參照

(二) (内務昭和十二年九月二十九日)
願 裁 決

(要旨) 收用審査會カ收用スヘキ土地ノ區域ノ決定ヲ爲スニ當リテハ必スヤ内務大臣ノ事業認定ヲ受ケタル土地ノ區域内ニ於テ之カ裁決ヲ爲スヘク其ノ區域以外ニ涉リテ裁決ヲ爲スノ權限ヲ有セサルモノトス

(裁決理由) 依テ土地收用法第八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ受理

シ審査ヲ遂クルニ(一) 訴願人等ハ熊本縣收用審査會カ裁決ヲ爲シタル土地ノ區域ハ學校用地トシテ地形上竝ニ地盤上不當ナリト主張スルモノナルモ收用審査會カ收用スヘキ土地ノ區域ノ決定ヲ爲スニ當リテハ必スヤ内務大臣ノ事業認定ヲ受ケタル土地ノ區域内ニ於テ之カ裁決ヲ爲スヘク其ノ區域以外ニ涉リテ裁決ヲ爲スノ權限ヲ有セサルハ言ヲ俟タス然ルニ本件ニ於テハ熊本縣收用審査會ハ昭和十一年十二月七日熊本縣知事ノ定メタル位置ニ對シ昭和十二年三月九日内務大臣ノ事業認定ヲ受ケタル土地ノ區域内ニ於テ裁決ヲ爲シタルモノナルヲ以テ假ニ訴願人等ノ主張スルカ如キ事實アリトスルモ其ノ事實ヲ理由トシテ收用審査會ノ裁決ニ對シ不服ヲ申立ツルコトヲ得ルモノニ非ス

三、收用スヘキ土地物件ニ關スル審査

(一) (行裁昭和五年第三四六號)
同七年十二月二十日宣告

(要旨) 起業者カ收用ヲ申請シタル土地ノ區域カ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナルモノナリヤ否ヤハ土地收用法第二十五條ニ依ル土地所有者又ハ關係人ノ意見書ノ有無ニ拘ラス收用審査會ニ於テ當然審査シテ之カ裁決ヲ爲スヘキ

モノトス

(判決理由) 参加人ハ原告ハ土地收用法第二十五條ニ依ル意見書ヲ提出セザリシヲ以テ被告カ参加人ノ申請ノ通り爲シタル本件裁決ハ違法ニ非サル旨主張スルモ起業者カ收用ヲ申請シタル土地ノ區域カ内務大臣ノ認定シタル事業ニ必要ナルモノナリヤ否ヤハ同條ニ依ル土地所有者又ハ關係人ノ意見書ノ有無ニ拘ラス被告ニ於テ當然審査シテ之カ裁決ヲ爲スヘキモノト解スルヲ相當トスルカ故ニ此ノ點ニ關スル参加人ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

註、大正四年六月二十八日宣告、同年第二十七號事件判決同

趣旨

(二) (行裁) 大正二年第二五二號
同 五年四月十四日宣告

(要旨) 收用審査會カ無効ノ土地物件調書ニ基キ收用スヘキ土地物件ヲ決定シ其調書ノ記載カ眞實ニ反スルコトヲ申立テタル土地所有者ノ意見書アルニ拘ラス事實ノ審査ヲ遂ゲスシテ爲シタル裁決ハ違法ナリ

(判決理由) 凡ソ土地所有者ト共同シテ土地及地上物件調書ヲ作成スルニ當リテハ收用法第二十條ニ定ムル三日ノ期間ヲ存スルノ要ナシト雖モ原告ノ共力ヲ求ムルニ相當ノ期間ナキ場合ニ

原告カ調書作成ニ立會ハサリシトテ村長代理ノ立會ヲ以テ調書ヲ作成シタルハ違法ニシテ調書タル效力ナキコトハ既ニ述ヘタル所ノ如シ而シテ原告カ該調書ニ記載スル土地及地上物件ノ表示ニ付被告ニ對シ甲第一號證ノ二ノ意見書ヲ提出シ(一)收用地ノ實測反別ニ不足アルコト(二)收用地中三筆ノ公簿上ノ地目ハ畑ナルモ其現狀ハ一筆ハ河水ノ激流ニ因リ土砂ニ埋覆セラレ荒廢地トナリ二筆ノ大部分ハ宅地ニ變更シタルモ是亦水害ノ爲荒廢地トナリタルモノナルニ公簿上ノ地目ヲ表示セルニ過キサレコト(三)地上物件タル桑樹ノ數ハ實際ヨリ多數ニ計上セルコトヲ申立タルニ被告ハ甲第一號證ノ一ノ裁決ニ於テ申請ノ基礎タル土地ノ面積土地ノ現狀物件ノ數量ニ付テハ土地收用法第二十一條ニ依リ適法ニ調書ヲ作成シタルモノナルカ故ニ同條第四項ニ依リ原告ハ其ノ記載事項ニ對シテハ異議ヲ述フルコトヲ得ス從テ原告ノ申立ハ採用スルノ限ニ在ラスト論斷シ被告及被告從参加人ハ本訴ニ於テモ同趣旨ノ抗辯ヲ主張スルモ土地物件ノ調書ハ前示ノ如ク無効ニシテ其無効ナルニ拘ラス被告ハ事實ノ調査ヲ遂ケス漫リニ調書ニ憑據シテ眞實ニ適合セザル裁決ヲ爲シタルモノナレハ右裁決ハ違法ニシテ被告等ノ抗辯亦失當ナリ

(三) (行裁) 昭和四年第一四五號
同 五年三月四日宣告

(要旨) 土地賃貸借契約解除ノ意思表示ニ依リ土地賃貸借權

カ收用審査會ノ裁決前已ニ消滅ニ歸シタルモノニ付テハ之
カ收用ノ裁決ヲ爲スヘキモノニ非ス

(判決理由) 案スルニ右地所ハ福井停車場擴張ノ用地トシテ昭
和三年三月鐵道省ニ買收セラレタルニ依リ賃貸人タル訴外松平
康莊ヨリ之ヲ理由トシテ昭和四年二月二十二日原告青木祇雄ニ
對シ本件賃貸借契約解除ノ意志表示ヲ爲シタルコトハ乙第七號
證ノ一ニ依リ明ニシテ右解除ノ原告ハ乙第七號證ノ二土地賃貸
借證書中賃借ノ期間中ト雖モ賃貸人ニ於テ必要ナル場合ハ何時
ニテモ返地ノ要求ニ應スヘキコトヲ特約ストノ條項ニ該當スル
ヲ以テ右解除ノ意志表示ハ有效ニシテ之ニ因リテ該賃貸借ハ本
件裁決ノ時期タル昭和四年三月二十八日(甲第一號證)以前已
ニ消滅ニ歸シタルモノトス故ニ乙第四號證ニ依リ明ナルカ如ク
本件ニ於テ起業者モ右賃借權收用ノ申請ヲ爲サス又甲第一號證
ニ依リ明ナルカ如ク被告モ之カ收用ノ裁決ヲ爲サザリシハ固ヨ
リ相當ナリ

四、收用地區確定ト土地臺帳ノ記載

(一) (行裁明治三十四年第二三一號)
同三十五年三月五日宣告)

(要旨) 土地ノ反別ニ付キ村役場備付ノ帳簿ト稅務署備付
ノ土地臺帳ト牴觸スル場合ニハ稅務署備付ノ土地臺帳ノ記

載ヲ以テ正確ナリト認ムヘク收用審査會ハ稅務署備付ノ土
地臺帳ニ依リ收用地ノ反別ヲ確定スルヲ相當トス

(判決理由) 原告ハ本件ノ係争地字第六天八番地ノ反別ハ七畝
二十五步ニシテ同字十番地ノ反別ハ四畝二十步ナルニ被告カ八
番地ノ反別ヲ七畝十九步十番地ノ反別ヲ四畝六步ト確定シタル
ハ不當ナリト謂フモ原告主張ノ反別ヲ證明セントスル地目變更
届ナルモノハ原告モ認ムル如ク既ニ取消サレタルモノナレハ該
届書ニ記載シタル反別即チ原告主張ノ反別ヲ以テ正當ナリト認
ムルコトヲ得ス然シテ原告ノ提出ニ係ル村役場備付帳簿ノ寫ニ
ハ八番地七畝十九步十番地四畝六步外七步哇畔ト記載シタルモ
被告ノ提出ニ係ル稅務署備付土地臺帳寫ニハ八番地七畝十九步
十番地四畝六步トノミアリテ共ニ哇畔ノ記載ナシ斯ノ如ク双方
ノ帳簿相牴觸スル場合ニ在リテハ稅務署備付土地臺帳ノ記載ヲ
以テ正確ナリト認メザルヲ得ス然レハ被告審査會カ土地臺帳ノ
反別即チ起業者ノ申立ニ符合セルモノヲ正確ナリトシ之ニ依リ
收用地ノ反別ヲ確定シタルハ相當ナリトス

(二) (行裁昭和五年第三五二號)
同七年三月二十九日宣告)

(要旨) 建物臺帳ニ於ケル地番ノ如何ニ拘ラス收用スヘキ
土地カ實地ニ於テ土地臺帳記載ノ地番ニ符合スルモノナル

以上收用審査會カ土地臺帳記載ノ地番ヲ以テ收用スヘキ土地ヲ表示シテ裁決ヲ爲シタルハ相當ナリ

(判決理由) 原告ハ被告ヘ收用スヘキ土地トシテ本件裁決書ニ於テ六百八十四番ノ一及三ノ内百二十四坪六合六分二ト記載セルモ右收用地ト全然別個ノ地上ニ在ル脇溝一、田中清吉、富田市松ノ各所有建物カ所轄役場ノ建物臺帳ニハ六百八十四番ノ一及三ノ地内ニ在ル旨記載シアリテ本件收用地百二十四坪餘ノ實地カ何レノ位置ニ在ルヤニ付權限アル官廳ノ確認ヲ得ザレハ本件收用ノ裁決ヲ爲スヲ得サルモノナルニ拘ラス被告ハ何等ノ手續ヲ爲サシテ本件裁決ヲ爲シタルハ違法ナル旨主張スルモ建物臺帳ニ於ケル建物ノ存在地番ノ如何ニ拘ラス收用スヘキ土地カ實地ニ於テ土地臺帳ノ記載ノ地番ニ符合スルモノナル以上被告カ土地臺帳記載ノ地番ヲ以テ收用スヘキ土地ヲ表示シテ裁決ヲ爲シタルハ相當ナリ

(三)

(行裁大正十五年第八一號)
昭和三年二月十六日宣告

(要旨) 地目ノ表示ハ單ニ收用地ノ該當位置區域ヲ明確ナラシムルモノニ過キササルヲ以テ裁決書ニ收用土地ノ地目ヲ土地臺帳記載ノ如ク表示シ現況ニ相當スル表示ヲ爲ササリシトスルモノヲ以テ裁決ヲ違法ナリト云フヲ得ス

(判決理由) 原告主張ノ第八點ハ收用土地ノ地目ハ補償金額ニ影響アリ然ルニ裁決書中本件收用土地ノ地目ヲ土地臺帳記載ノ如ク表示シ土地ノ現況ニ相當スル表示ヲ爲ササルハ違法ナリト云フニ在ルモ補償金額ハ地目ノ如何ニ拘ラス土地所有者カ收用ニ因リ現實ニ受クル損失ヲ標準トシテ決定スヘキモノニシテ地目ノ表示ハ單ニ收用地ノ該當位置區域ヲ明確ナラシムルモノニ過キス從テ裁決書ニ收用土地ノ地目ヲ土地臺帳記載ノ如ク表示シタルハ相當ニシテ之ヲ違法ナリト云フヲ得ス

(四)

(行裁大正五年第九二一號)
同七年五月二十七日宣告

(要旨) 土地分筆ノ際地番ノ符號削除セラレ土地臺帳ニ記載ナキトキ單ニ地番ノミヲ表示シタルハ收用土地ヲ明確ニ定メサル違法アリト云フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ本件收用地中群馬縣利根郡東村大字高戸屋字小澤千六十八番ノ三畑三畝二十一歩及同所千八十二番ノ四畑五歩ニ付テハ裁決書記載ノ地番ニ甲ナル表示文字ナキカ故ニ收用土地ヲ明確ニ定メサル違法アリト云フモ乙第四號證(沼田稅務署ノ回答書)ニ依レハ該當ニ付争ナキ前示收用土地ハ同所甲千六十八番及甲千八十二番ノ土地分筆ノ際甲ナル符號カ削除セラレタルコト明瞭ニシテ現ニ乙第一號證(土地臺帳謄本)ニ依

レ右土地ノ地番ニハ何レモ甲ナル符合ナキニ依リ原告ノ主張ハ採用スルニ由ナシ

五、收用地區ノ確定ト坪數計算

(一) (行裁大正三年第一二四號)
同三年七月二十九日宣告)

(要旨) 起業者カ裁決申請書ニ添附シタル書類中同一收用地ノ坪數ヲ表示スヘキ二箇ノ記載アリ其ノ一方カ右書類ニ示シタル計算上誤謬ナルコト明ナル場合ニ於テ其ノ謬レル坪數ヲ掲ケテ收用土地ノ區域ト爲シタル裁決ハ收用土地ノ區域ヲ明確ニ定メサルモノニシテ違法ナリ

(判決理由) 本件收用審査會ノ裁決申請書ニ添附シタル潰地一坪限實測圖ノ記載ニ依レハ都筑郡田奈村恩田字井戸久保二千四百十八番ノ潰地反別一畝六歩トアルモ其ノ内譯ニハ計七十二坪七合此ニ除三十六坪三合五勺トアリ又同所ニ千四十九番ノ潰地反別一畝一歩トアルモ其内譯ニハ計六十二坪一合此ノ二除三十一坪五勺トアリテ潰地反別ノ表示ト一致セス而シテ之ヲ該實測圖面ノ間數ニ對照スルニ其内譯記載ノ正確ナルコト明瞭ナルヲ以テ起業者ノ申立範圍内ニ於テ爲シタル本件裁決ハ收用土地ノ區域トシテ右内譯記載ノ坪數ヲ掲ケヘキ管ナルニ裁決主文ニハ

「收用スヘキ土地ノ區域ハ起業者申立ノ適」ト云ヒ其ノ事實理由中宇井戸久保二〇八番收用面積一畝六歩同二〇四九番收用面積一畝六歩ト記載シ前記潰地反別ノ表示ト同一坪數ヲ掲ケタルハ收用土地ノ區域ヲ明確ニ定メサル違法ノ裁決ナリト被告ハ土地收用法第二十一條ニ基キ作成シタル調書ニ基キ裁決シタルコトヲ理由トシテ辯論スル所アリト雖モ既ニ前示ノ違法アルコト明ナル以上ハ被告ノ辯論ニ對シ一々説明スルノ必要ナシ

(二) (行裁昭和五年第六二號)
同十年三月二日宣告)

(要旨) 收用審査會ノ裁決ニ於テ建物ノ坪數ヲ京間ト稱スル異例ノ算定法ニ依リ算定スルモ其ノ算定ニシテ事實上錯誤ナク且實地ニ照シテ明確ナル以上之ヲ違法ナリト謂フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ起業者ノ裁決申請書ニ於テハ正當ナル坪數計算法ニ依リ坪數ヲ算定セルニモ拘ラス被告ハ本件裁決ニ於テ京間ト稱スル異例ノ算定法ニ依リタルハ違法ナリト主張スルモ其ノ算定ニシテ事實上錯誤ナク且實地ニ照シテ明確ナル以上之ヲ以テ違法ナリト謂フヲ得ス而シテ右算定ニ錯誤アリ又ハ實地ニ照シテ明確ナラズト認ムヘキ何等立證ナキヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ之ヲ採用スルヲ得ス

六、裁決書中收用地區ノ表示方

(一) (行裁昭和六年第八〇號)
同 七年十二月十日宣告

(要旨) 土地收用裁決申請書ニ添附ノ土地物件調書ニ收用地ノ所在地名、地目及面積ヲ掲ケ且收用區域ヲ表示セル圖面ヲ添附シアリ裁決ノ正文ニ於テ土地區域ヲ「起業者申請ノ通トス」トアル以上收用地ノ區域ヲ明示セサルモノト云フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ起業者ノ本件裁決申請書中「國府村大字大塚字道祖神八百十一番地畑原地積七畝二十三歩收用面積二畝九歩殘地三歩土地所有者清水藤十郎」トアリ收用地積計算圖ニハ殘地三十三坪一合五勺收用面積六十九坪六勺五トアリ又收用地積トシテ同所八百十一番畑二畝十一歩トアリテ何レモ相違セル歩數ヲ掲ケ收用地ノ區域ト爲シタルハ收用土地ノ區域ヲ明確ニ定メサル違法アルモノナリト云フモ本件裁決申請書添附ノ土地物件調書ニハ收用地ノ所在地名、地番、地目及面積ヲ掲ケ且收用區域ヲ表示セル圖面ヲ添附シアリ本件裁決ノ正文ニ於テ土地收用區域ヲ「起業者申請ノ通リトス」トアルカ故ニ收用地

ノ區域ヲ明示セサルモノト云フヲ得ス從テ右主張ハ理由ナシ

(二) (行裁明治四十五年第一三一號)
大正元年十一月二十九日宣告

(要旨) 土地收用ノ裁決書ニ土地ノ區域ヲ表示スルコトヲ要スルハ何レノ土地カ收用セラルルヤヲ知り得ルノ要アルカ爲ニ外ナラサルヲ以テ其ノ文字カ單ニ或地番ノ中若干ノ坪數ヲ掲クルニ止マルモ之ヲ實際ノ狀況及ヒ申請ノ附屬書類等ニ照シ收用スヘキ土地ヲ定メ得ルモノハ是レ該土地ヲ表示シタモノト云ハサルヘカラス

(判決理由) 原告ハ被告ノ裁決書ニハ收用スヘキ土地ノ區域ヲ記載セスト主張スルモ該裁決書ニハ收用スヘキ地番ニ付面積ノ記載アリ中ニハ「第二百六番地畑十六歩ノ内十四歩〇四勺」ト言フ數ヲ混スルモ之ヲ乙第五號證ナル起業者ノ申請書及乙第六號證ノ二乃至七ナル繪圖面ニ對照スルトキハ何レノ土地カ收用セラルヘキヤヲ知ル上ニ於テ何等ノ困難ヲ感セサルヲ以テ未タ土地ノ區域ヲ示ササルモノト謂フコトヲ得ス元來裁決書ニ收用スヘキ土地ノ區域ヲ表示スルコトヲ要スルハ何レノ土地カ收用セラルルヤヲ知り得ルノ要アルカ爲ニ外ナラス故ニ裁決書ノ文字ハ單ニ或ル地番ノ中若干ノ坪數ヲ掲クルニ止マルモ之ヲ實際

ノ狀況及申請ノ附屬書類等ニ照シ收用スヘキ土地ヲ定メ得ルモノハ亦タ是レ收用スヘキ土地ヲ表示シタルモノト謂ハサルヘカラス即チ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ理由ナシ

(三) (行裁大正元年第一八五號)
元年十二月四日宣告

(要旨) 裁決書中現ニ收用スヘキ地域ノ屬スル郡村大字名地番、地目、反別竝ニ其ノ内ニ於ケル收用地ノ反別ヲ詳記シアル以上土地ノ區域ヲ明示セスト云フヲ得ス

(判決理由) 按スルニ原告ハ山梨縣收用審査會ノ裁決ノ違法ナル理由ヲ第一乃至第十三點ニ分チテ詳述セリ其第一點ハ被告カ裁決書中收用スヘキ土地ノ區域ヲ明示セズ即チ其收用シタル地點ヲ記載セサルハ土地收用法第三十五條ニ違反スル不法ノ裁決ナリト云フニ在ルモ裁決書ニ依レハ現ニ收用スヘキ地域ニ屬スル郡村大字名、地番、地目竝ニ其内ニ於ケル收用地ノ反別ヲ詳記シアリテ普通裁決書ニ於ケル收用地點ノ表示ハ以上ノ如キ記載例ノ外ニ出テサル事ハ殆ト一般ノ事例ト見ルヘク實際ニ於テ其表示セル地點ノ何レニ在ルヤハ申請書ニ添附セル事業計畫書竝ニ圖面ニ徴シテ之ヲ認ムルヲ得ヘク且又實地ニ於テ標木ヲ建設シタル地域ノ既ニ確定セルモノアルヲ以テ原告カ裁決ニ記載セル收用地ノ區域明瞭ナラストノ主張ハ之ヲ採用セス

(四) (行裁大正二年第四號)
二年三月十七日宣告

(要旨) 收用スヘキ區域ハ裁決申請書ニ添附ノ事業計畫書等ニ依リ關係者ニ當然判明セル事實ニシテ裁決書ニハ單ニ土地ノ地目坪數ヲ示セハ足り收用地ノ區域ヲ明示セサルモ不可ナルコトナシ

(判決理由) 原告ハ本件審査會ノ裁決ハ收用スヘキ地目坪數ノミヲ記載シ同番地内何レノ部分ニ當ルヤ其區域ヲ示サズ即チ法第三十五條第一號ニ依レル收用スヘキ土地ノ區域ヲ明示セサル違法アリト主張セリ然レトモ審査會カ裁決書ニ收用スヘキ土地ノ地目坪數ノミヲ表示スルハ殆ト普通ノ事例ニシテ其實際ノ區域ハ裁決申請書ニ添附シタル事業計畫書及收用地域繪圖面等ニ依リ關係者間ニ當然判明セル事實ナレハ原告カ裁決書ニ收用地ノ區域ヲ明示セストノ主張ハ採用シ難シ

(五) (行裁大正九年第二二四號)
同年十二月二十二日宣告

(要旨) 裁決主文ニ於テ收用スヘキ土地ノ區域ハ起業者申請ノ通ナル旨ヲ明示シ而シテ裁決カ申請書附屬調書ニ收用地ノ所在地名、地番、地目、面積ヲ掲ケ且收用區域ヲ表示セル圖面ヲ添附シアルトキハ其裁決ハ收用地ノ區域ヲ明示

セサルモノト謂フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ本件裁決ハ收用スヘキ土地ノ區域ヲ明示セサルカ故ニ違法ナリト主張スルモ裁決主文ニハ收用スヘキ土地ノ區域ハ起業者申請ノ通ナル旨明示シ而シテ裁決申請書附屬圖面ニハ收用地ノ所在地名、地番、地目、面積ヲ掲ケ且收用區域ヲ表示セル圖面ヲ添附シアルヲ以テ本件裁決ハ收用地ノ區域ヲ明示セサルモノト謂フコトヲ得ス原告ノ主張ハ理由ナシ

(六) (行裁大正十一年第八二號)
同十五年十二月二十三日宣告

(要旨) 起業者ノ申請書附屬圖面及實際ノ狀況ニ照シ收用地區ヲ定メ得ル以上ハ土地收用ノ裁決書中收用地ノ區域ヲ表示スルニ當リ一筆ノ土地ノ内一部分ノ面積ヲ表示スルニ止マルモ又實地測量ノ結果其ノ面積カ右表示ノ面積ヨリ増歩トナルコトアリトスルモノヲ以テ裁決書ニ土地ノ區域ヲ表示セサルモノト謂フヲ得ス

(判決理由) 土地收用ノ裁決書中收用地ノ區域ヲ表示スルニ當リ一筆ノ土地ノ内收用スヘキ一部分ノ面積ヲ表示スルニ止マリ其ノ何レノ部分ヲ收用スルモノナリヤヲ明示セサルモノ之ヲ起業者ノ申請書附屬ノ圖面及實際ノ狀況ニ照シ收用區域ヲ定メ得ル

以上ハ收用地ノ區域ヲ表示セサルモノト云フヲ得ス(當裁判所大正元年十一月二十九日宣告明治四十五年第三百三十一號事件判決並大正元年十二月四日宣告同年第八十五號事件判決参照)而シテ乙第一號證(裁決申請書)ノ附屬圖面ニハ本件收用地二十七筆ノ各土地ノ内收用スヘキ部分ノ區域ヲ明確ニ圖示シ且實地ニ於テ標杭ヲ建設シテ其ノ區域ヲ示シアルコトハ當事者間爭ナキ所ナルヲ以テ本件裁決書ニ一筆ノ土地ノ内一部分ノ收用區域ヲ表示スルニ當リ單ニ或ル地番ノ内收用スヘキ一部分ノ面積ヲ掲ケタルニ止マルモ又假ニ原告主張ノ如ク右標杭ニ依リ實地測量スルトキハ裁決書表示ノ面積ヨリ増歩トナルモノトスルモノヲ以テ裁決書ニ土地ノ區域ヲ明示セス從テ土地收用法第三十五條第一項ニ違背シタルモノト謂フヲ得ス

(七) (行裁大正十一年第一一號)
同十三年三月六日宣告

(要旨) 公簿上ノ地目、反別カ現況、實測ト相違スルモ裁決カ公簿上ノ地目反別ノ如何ニ拘ラス其ノ土地ノ現況及實際ノ廣狹ニ準據シタルトキハ其裁決ハ違法ニアラス

(判決理由) 土地收用法第二十三條第一項ニ起業者ハ其ノ裁決申請書ニ收用スヘキ土地ノ番號、地目、面積ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘキ旨ヲ規定シ又同法第三十五條第一項ハ收用審査會

ノ裁決事項ノ一トシテ收用スヘキ土地ノ區域ヲ以テシタルハ收用スヘキ土地ノ所在ト其ノ區域トヲ確定ナラシムヘキ趣旨ナリト解スヘキカ故ニ本件ノ如ク十六筆ノ土地ノ全部ヲ收用シ起業者ノ收用區域確定シ居ル場合ニ於テ裁決書ニ其ノ所在町村、大字、字、地番ト共ニ公簿上ノ地目反別ヲ以テ收用ノ土地ヲ表示シタル、キハ假令公簿上ノ地目ハ現地ノ狀況ニ相當セザルモノアリ又公簿上ノ反別ハ實測反別ヨリ少シトスルモ收用土地ニ對スル補償金額ハ裁決書ニ示サレタル公簿上ノ地目反別ノ如何ニ拘ハラス其ノ土地ノ現況及實際ノ廣狹ニ準據シテ定メラルヘキモノナルヲ以テ其ノ裁決ヲ違法ナリト爲スヘキニアラス

七、共有地ヲ單獨所有ニ係ルモノトシテ爲シタル裁決

(一) (行裁昭和五年第五三號)
同五年八月五日宣告

(要旨) 兩人ノ共有地ヲ其ノ中ノ一人ノ單獨所有ニ係ルモノトシテ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ニ他ノ一人ノ權利ヲ侵害シタルモノニシテ裁決中其ノ者ノ持分ニ關スル部分ハ之ヲ取消スヘキモノトス

(判決理由) 保爭ノ大分縣東國東郡安岐町大字下原字ミナト二千四百四十番ノ一宅地八十六坪ハ照山一郎ノ所有ニ屬シタルモ

ノナルコト、同人ハ照山治作、同トヨノ長男ニシテ大正八年五月三日死亡シタルコト、同人ハ死亡ノ當時戸主治作ノ家族ニシテ直系卑屬並配偶者ナカリシ者ナルコトハ當事者間等ナキ事實ナルカ故ニ右土地ハ遺産相續人タル父治作及母トヨノ兩人ニ於テ之ヲ相續シ各二分ノ一ノ持分ヲ有スヘキモノナルコトハ民法遺產相續ニ關スル規定ニ依リ明ナル所トス然ルニ被告カ右土地ヲ原告治作ノ單獨所有ニ係ルモノトシテ右土地ノ中二十四坪ニ付收用裁決ヲ爲シタルハ違法ニ原告トヨノ權利ヲ侵害シタルモノニシテ右裁決中原告トヨノ持分ニ對スル收用ニ關スル部分(土地收用補償額ニ在リテハ同原告ノ持分ニ對スルモノ即チ土地收用補償金ノ半分)ハ之ヲ取消スヘキモノトス然レトモ被告ノ爲シタル本件裁決ニ於テ右ノ違法アルノ故ノミヲ以テ違法ニ原告治作ノ權利ヲ侵害シタルモノト爲スヲ得ザルヲ以テ同人ノ持分ニ對スル收用ニ關スル部分ハ取消スヘキ限ニ在ラス

(二) (行裁昭和五年第五三號)
同五年八月五日宣告

(要旨) 兩名ノ共有ニ屬スル土地ニ付テ收用審査會カ一人ノ單獨所有ニ屬スルモノトシテ爲シタル裁決ニ於テ其ノ地上ニ在ル建物其ノ他ノ物件ヲ移轉ニ關スル補償ノ裁決ヲ爲スハ違法ニシテ取消スヘキモノトス

(判決理由) 前段説明スルカ如ク被告カ右土地ノ中二十四坪ニ對シテ爲シタル本件收用ノ裁決中原告トヨノ持分ニ對スル收用ニ關スル部分カ取消サルヘキモノナル以上ハ假令收用ノ時期到來スルモ右二十四坪ノ土地ニ對スル原告治作ノ持分ハ消滅シ起業者ニ歸屬スルモ原告トヨノ持分ハ消滅セサルニ因リ右土地ハ起業者ト原告トヨノ共有ニ屬スルモノトス從テ被告ハ右土地ニ存在スル建物其ノ他ノ物件ノ移轉ニ關スル補償ノ裁決ヲ爲スヘキモノニ非サルヲ以テ本件收用ノ裁決中右移轉ノ補償ニ關スル部分ハ之ヲ取消スヘキモノトス

(三)

(行裁 大正十年第一二五號
同十年六月十三日宣告)

(要旨) 兩人ノ共有地ヲ其ノ中ノ一人ノミノ單獨所有ニ係ルモノトシ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ニ他ノ一人ノ權利ヲ侵害シタルモノニシテ裁決中其ノ者ノ持分ニ對スル部分ハ之ヲ取消スヘキモノトス

(判決理由) 野口七藏ノ遺産相續人トシテ本件土地ヲ相續シタル者ハ原告源八ト野口はつトノ兩人ニシテ孰レモ嫡出子ナレハ相續分相等シク此兩人ハ各二分ノ一ノ持分ヲ有スル共有者ト爲リタリト爲ササルヘカラス其後原告源八ハ他ノ共同相續人ノ相續分ヲ讓受ケタリト假定スルモ其登記ナキコトハ原告ノ爭ハサ

ル所ナレハ相續分ノ移轉ハ之ヲ以テ民法第七十七條ニ所謂第三者タル起業者ニ對抗スルニ由ナク被告カ讓受ヲ認メサルハ失當ニアラス大正七年七月十一日ニ至リ共有者ノ一人野口ハツ死亡シ同人ハ家族ニシテ原告七右衛門カ其ノ戸主トシテ遺産相續人ト爲レルコトハ乙第十一號證ニ據リ又同原告カ自己ノ爲ニ相續ノ開始アリタル事實ヲ知リタルハ遅クトモ同月十二日ナルコトハ同日原告ヨリ死亡届アリタル旨ノ乙第十一號證ニ於ケル記載ニ據リ之ヲ認メ得ヘク同原告カ相續ノ拋棄ヲ爲シタリト認ムヘキモノナキカ故ニ同原告カ野口はつノ持分ヲ承繼シタリシコト確定シ結局本件土地ハ兩原告ノ共有地ニシテ各自二分ノ一ノ持分ヲ有スト認ムヘキモノナリ然ルニ被告カ本件土地ヲ原告七右衛門ノ單獨所有ニ係ルモノトシ收用ノ裁決ヲ爲シタルハ違法ニ原告源八ノ權利ヲ侵害シタルモノニシテ裁決中同原告ノ持分ニ對スル部分(土地收用補償額ニ在リテハ同原告ノ持分ニ對スルモノ)即土地收用補償額(半額)ハ之ヲ取消スヘキモノトス被告及參加人ハ原告源八ニ對シ收用ノ裁決ヲ爲シタルニ非サルヲ以テ同原告ノ權利ヲ侵害シタルモノニ非スト論スレトモ權利者ヲ誤認シテ爲シタル裁決ハ眞ノ權利者ノ權利ノ維持ニ危害ヲ生セシムルモノナレハ此所論ハ理由ナシ原告ハ右ノ違法アル爲裁決ハ他ノ部分ヲモ亦取消サルヘキモノナリト論スレトモ共有者

各自ノ持分ハ各別ニ之カ處分ヲ爲スニ妨ケナク又地上物件ノ所有者カ原告源八ニ非サルコトハ争ナキ事實ナレハ此ノ所論モ亦理由ナシ

八、收用スヘキ土地ニ付借地權ナキ者ヲ

關係人トシタル裁判

(行裁昭和七年第二六一號)
同八年五月三十日宣告)

(要旨) 收用スヘキ土地ニ付賃借權ヲ有セサル者ヲ借地權者タル關係人トシテ土地收用ノ裁判ヲ爲シタルハ違法ナリ

(判決理由) 被告ハ本件收用地カ訴外林義三所有ノ當時訴外高野福松カ借地權ヲ有シ之カ登記ヲ了セル林義三ノ他ノ所有地ト合筆セラレタルカ爲メニ本件收用地ニモ高野福松ハ賃借權ヲ有スルニ至リタルモノナレハ同人ハ本件收用地ノ關係人ナル旨主張スルモ本件收用地ハ合筆前ノ大今里町三十番、三十番ノ一三十一番及三十一番ノ一ノ四筆ノ内ニ屬シ昭和七年中原告力競賣ニテ舊地番名ニ依リ買得シタル借地權ノ登記ナキ二十八番外九筆ノ土地ノ一部ナルコト及林義三カ高野福松ノ爲ニ賃借權ヲ設定シ之カ登記ヲ了シタルハ合筆前ノ同町三十六番、三十八番及四十三番ニシテ右土地ハ本件裁判當時ニ於テモ林義三ノ所有ニ屬シ居リタルコトハ被告ノ争ナキ所ナルヲ以テ假令合筆ヲ爲

シタリトスルモ本件收用地ニハ高野福松ノ賃借權カ及フモノト爲スヲ得ス而シテ被告カ收用ノ裁判ニ於テ土地ニ對スル補償額ヲ定ムルニ付テ該土地ニ賃借權ノ設定アル場合ト設定ナキ場合トニ依リ土地所有者ニ對スル補償額ヲ異ニシ賃借權ノ設定アル場合ノ補償額ハナキ場合ノ補償額ヨリ借地權ニ對スル補償額タケ少額ニ定ムル主義ヲ採用シ居ルコト及本件裁判ニ於ケル原告ノ土地ニ對スル補償額モ右主義ニ則リ借地權ニ對スル補償額タケ少額ニ定メラレタルモノナルコトハ被告ノ争ナキ所ナルヲ以テ被告カ本件裁判ニ於テ借地權ヲ有セサル高野福松ヲ借地權者タル關係人トシテ同人ニ對シ借地權ノ補償ヲ裁決シ因テ原告ニ對スル補償額ヲ過少ニ裁決シタルハ違法ニ原告ノ權利ヲ傷害スルモノニシテ原告ノ請求ハ理由アリ

九、裁決書中損失補償額ノ記載方法

(一) (行裁明治四十三年第二四〇號)
同四十四年十一月二十一日宣告)

(要旨) 收用審査會裁決書ニ收用土地及物件ノ損失補償額ハ起業者申立ノ通りト記載シ其金額ヲ掲記セサルハ不法ナレトモ之ヲ以テ直ニ違法ナリト云フヲ得ス

(原告主張) 被告ノ裁決書ニ於テハ單ニ「收用土地及物件ノ損失補償額ハ起業者ノ申立通り」トアルノミニシテ裁決書ノ全體

ニ於テ其金額ノ幾何ナルヤヲ知ルニ由ナキモノナレハ土地收用法第三十五條ニ違背スル裁決ト云ハサルヘカラス

(判決理由)原告ハ裁決書ノ形式ニ關シ同書ニハ單ニ「收用土地及物件ノ損失補償額ハ起業者申立ノ通り」トアリテ金額ノ記載ナキハ違法ナリト云フモ右ノ如キ記載法ハ鄭重深切ヲ缺キ本件ノ如キ爭論ノ基因ト爲ルヘキヲ以テ不適法ナルヲ免レスト雖モ土地收用法第三十五條ニ於テハ「收用審査會ハ(中略)左ニ掲ケタル事項ヲ定メテ收用又ハ使用ノ裁決ヲ爲スヘキモノトス(中略)二、損失ノ補償下略」トアルノミナレハ之ヲ以テ直ニ違法ナリト云フヲ得ス隨テ此ノ點ニ關スル原告主張ハ採用スルヲ得ス

(二) (行裁昭和七年第一四二號) 同七年十二月二十四日宣告

(要旨)裁決書中ノ地上物件損失補償金見積書ニ於テ同一人ニ對スル別種ノ損失ノ補償金ヲ各別ニ記載セス其ノ合計金額ヲ記載スルモ違法ニ非ス

(判決理由)原告ハ別種ノ損失ニ對スル補償金ハ假令同一人ニ歸スルモノト雖モ各別ニ其ノ損失額ヲ量定スヘキモノナルニ原被告齋藤榮八ニ對スル收用審査會裁決書ニ於ケル地上物件損失補償金見積書中ニ門柱、植木共ノ他一切ノ補償金五百圓ナル旨記

載アルハ違法ナリト主張スルモ右見積書中ニ掲セラレタル門柱、植木其他一切ノ補償金ハ倉庫、營業、貸店舗、門柱、植木等各損失ニ對スル補償金ノ合計金額ヲ記載シタルモノナルコト原告ノ爭ハサル所ニシテ而モ同一人ニ對スル見積ノ損失補償金ハ之ヲ各別ニ記載スルコトヲ要スル旨ノ何等規定ナキヲ以テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張モ亦之ヲ採用スルヲ得ス

(正誤)第二十一卷第一號以降ノ本稿中左ノ通訂正

號	頁	行	誤	正
一	一四六	上段一二	第三、三六七	第三三六、七
六	一五〇	上段終ヨリ四	協	協 議
六	一五〇	上段終ヨリ三	トキトキハ	トキトハ
八	一五七	一 (標題)	(一一)	(一二)
八	一六〇	下段終ヨリ七行下ヨリ二字以後行ヲ換ヘル		
八	一六一	下段終ヨリ一〇行下ヨリ一〇字以後行ヲ換ヘル		